

# 権力集中する西川知事 目的達成でお役御免!

自ら4期目不出馬の英断を一、特定既得権益者の温床となる。  
福井県商工政治連盟・福井県建設業会政治連盟・福井県農業政治連盟

## 70歳を迎える 来春の統一地方選

投資と雇用が流出する民間海外進出企業に補助と営業支援? 幸せな国ブータンとの交流意義は? 怖い恐竜に金をかけ夢託す? 川田痴辞と西川知事の暴走に物言えぬ県議、首長、県幹部、自治体議長各位、「川田さん、知事選か県議選に出馬すれば」と言ってみてはいかがか。県民が選んでもいない川田が仕切るのは可哀しいと、皆が口を揃える。

文責・稲井捨信

西川一誠福井県知事は、舞若道全線開通、北陸新幹線金沢〜敦賀間着工決定、中部縦貫道全線開通見通し、足羽川ダム建設計画、福井国体の誘致など目的を果たした3期12年間であった。来春は改選期だが、僅か人口80万人の県では、全体掌握は簡単で権限が集中する知事に対してイエスマンでない「座ぶとん集会」にもお呼びも無く参加出来ない。反旗を翻しでもしたら身内、町内、親戚にまで憎まれ、

村八分となり島流しとなると恐れる。ゆえに、現職知事は自らが不出馬を表明しないと新知事は生まれえない。次世代にバトンタッチしないと、川田、西川氏の独裁体制が今後4年間続き、浮かばれない人も16年間の長きに亘り我慢を強いられる県民もいることを忘れてはならない。

来年74歳になる川田達男氏、70歳となる西川一誠氏の老老コンビが仕切る福井県政には既得権益を守らんとする商工会、経済界、農業・建設業団体と知事を囲む女性軍団が控える構図になっている。

県幹部、9市長8町長と県

議会議員、市・町議会議員、県民は川田、西川コンビに呆れてもう物言うのも嫌、顔も見たくないと言っている。

平成7年10月栗田前知事と故小棹博元県議の強力な力添えのおかげで福井県副知事となり2期8年、さらに福井県知事3期12年で通算20年の長きに亘り無事務められ、十分な技量を発揮された。

自らが退かない限り、築いてきた強力な権力と組織力には対抗できず勝算は無い。西川知事を上回る若い有能な人材は出る釘を打たれてまで先を考え時代に適応した政策転換を出来る新福井県知事の誕生は無い。

県幹部、福井県出身の官僚もしくは栗田前知事当時に知事選に出馬した自民党福井県連会長でもある山本拓衆議院議員、高木毅国交副大臣などの若い人に出馬要請をされ、県政から川田達男氏と縁を切り、山積する課題を託す時期

人口100万人以下の県		出身自治体		出身自治体	
県名	人口	出身自治体	出身自治体	出身自治体	出身自治体
鳥取	57万7,022	鳥取県	鳥取県	鳥取県	鳥取県
島根	74万5,074	島根県	島根県	島根県	島根県
高知	76万9,444	高知県	高知県	高知県	高知県
徳島	79万4,615	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県
福井	83万9,935	福井県	福井県	福井県	福井県
佐賀	84万5,938	佐賀県	佐賀県	佐賀県	佐賀県
山梨	97万9,538	山梨県	山梨県	山梨県	山梨県
和歌山	98万5,387	和歌山県	和歌山県	和歌山県	和歌山県
香川	98万5,387	香川県	香川県	香川県	香川県

ではないか。  
西川知事は京都大学卒業で他8県の人口100万以下の知事はすべて東京大学卒業で官僚出身者だ。  
女性知事は北海道の高橋はるみ氏(一橋大)通産省出身。山形県の吉村美栄子氏(お茶ノ水女子大)。滋賀県の嘉田由紀子氏(京都大学)、47道府県中3名。  
最年少知事は三重県の鈴木英敬氏、昭和49年生まれで東大卒通産省出身。昭和40年に降に生まれた知事は他に47年

生まれ山口県の村岡嗣政氏、東大卒自治省出身。42年生まれ高知県の尾崎正直氏、東大卒大蔵省出身。41年生まれ岡山県の井原木隆太氏、東大卒天満屋取締役社長出身。40年生まれ広島県の湯崎英彦、東大卒通産省出身の5名。  
最年長は昭和14年生まれ沖縄県の仲井眞弘多氏、17年生まれ山梨県の横内正明氏と大分県の広瀬勝貞氏で、20年生まれは茨城県の橋本昌氏、富山県の石井隆一氏、石川県の谷本正憲氏、兵庫県の井戸敬三氏、奈良県の荒井正吾氏と福井県の西川一誠知事の6名。

**県庁の派遣秘書  
秘密は守られるのか**

福井県は、平成20年より秘書に係る労働者派遣に関する公募型プロポーザルを実施している。平成20年〜24年3月まで派遣業社はアデコ(株)であった。

平成24年12月、企画提案者プレゼンに7社が参加し、各部署の担当者が審議と審査をして総務部長が決める。県職員が審査し外部審査員はなしで新規契約はアイビージェントに決まった。配置先は総務部県民サービス室、政策推進グループ、総合政策部、安全環境部、健康福祉部、産業労働部、観光営業部、農林水産部、土木部、教育庁の10名。年間委託費用は3千668万4千円となっている。

派遣労働者と派遣業社は個人情報保護の重要性を認識し、個人情報を見だりに他に漏らしてはならず、在職中及び退職後においても、業務に關して知り得た情報をみだりに他人に知らせ、また不当な目的に使用してはならないと派遣業社との契約事項に入っているが、パソコンのID及びパスワードは厳重に管理されているのか、情報及び情報資産の流失には繋がらないのか。



か。公務員でないため守秘義務違反などの罰則の規定にあてはまる法律は無く、総務部、安全環境部、教育庁に至るまでの秘書の労働者派遣は、知事、副知事、原発に関わる安全環境部長、教育長など面会者が出来る。当然だが社長である藤井孝氏も簡単に知り得る立場にある。

派遣会社が県への派遣社員を新聞広告などで「秘書業務募集、労働時間8時15分～17時15分まで」と簡単に募り、僅かな研修制度と講習を受け時給で派遣している。

我々一般県民は情報公開を求めても個人情報はずべて削除されるが、派遣労働者は極秘に調べようと思えば簡単であるうし、在職中とはかく退職後まで情報をみだりに他人に知らせ不当な目的に使用される可能性はあり、大きな機密情報の流失に繋がりがかねず県民にとっても重要な問題だ。県幹部の受付、接待業務は特に女性でもあり県職員で勤務5年以上で身元も保証された守秘義務をしっかりと守れる人で信頼できる人を選んて配置するのが守秘義務を守る観点からも最重要では。

当誌に実名での投書があり、本人と他に複数の人に取材し話を聞くと、知事の寵愛ある懐刀の側近である県幹部N氏

が派遣会社アデコ(株)より派遣され今もアイビーエージェントに在籍している派遣秘書と、さらに女性県職員との不倫の噂が広く伝わり話題となっている。不倫相手の名前はあえて公表をしないでおくが、部下の事務職5割は周知しており、技術屋さんだけは何も知らず言うことを聞く様子。不倫話の噂がたとえ事実と違っても噂話になること自体が問題であり、身に覚えがなかったら噂を消せと申したい。

不思議なことに派遣会社が変わっても、前回と同じ派遣秘書を県は複数人派遣雇用している。一般的に考えれば、派遣会社が変われば派遣する人材は当然変わるのが当たり前だが、この人は継続して使いたいなど派遣会社と県幹部職員との馴れ合いと口説きが通用し横行しているものと思われ、派遣会社を厳格な審査で選んでいるとは到底思われない。



昭和61年に設立したアイビーエージェント(株)代表藤井孝氏と県職員幹部職員数名の人間関係の交友は20年以上にわたり永らく続いている間柄で、今回の秘書派遣入札決定はほぼ決められていた結果とも思える。県が補助金を出費する事業と許認可する業務にも幅広く参画している県は大切なお客様で強いパイプがある。平成9年に一般労働者派遣事業者の登録、平成22年プライバシーマークを取得した。

p 6 ~ p 19 までの

特集 14 ページ